

若松公民館だより

〒264-0021 千葉市若葉区若松町2117番地の2 電話 043-231-7991
本紙は若松中、小倉小、若松小、若松台小、第32地区町内自治会に配布しています。

若松公民館の館長としての勤務が、3年目を迎えました。今年度もよろしくお願ひします。

3月13日以降、新型コロナウイルス感染症に対する基本的な感染対策のうち、マスクの着用は、個人の主体的な選択を尊重することになりました。そして5月8日からは、感染症法上の位置づけが5類感染症に変更され、法律に基づく外出自粛が求められず、外出を控えるかどうかは個人の判断に委ねられ、行動制限がかなり解除されることとなりました。若松公民館でも、この3年の間に、接触を伴うダンスのサークルの解散、調理など活動の制限による講座の中止や部屋の収容人数の制限などがありました。国の対応に従って、当然、公民館での活動の制限もなくなりましたので、今まで以上のご利用をお待ちしています。

また、多くの公民館が抱える課題ですが、高齢化に伴うサークル活動の衰退や解散による地域のつながりの減少という問題が起きています。当館では、連続講座を

積極的に行っており、昨年は受講生からなる「ローゼルの会」、「パッチワークキルトサークル」が誕生しました。今年度は男女混声合唱や沖縄をテーマとした新規サークルの創設を目指し講座を企画しています。連続講座以外にも、中・高生や特別支援学校の児童生徒、小学生からシルバー世代まで、多くの方々が参加できる事業を計画しています。詳しくは各小中学校に配布しているチラシや自治会の回覧板、公民館情報誌、市政だより、ホームページなどをご確認の上、積極的に地域の施設をご利用していただきたいと思ひます。

最後になりますが、当館は図書室を併設しています。約2万冊の配架本以外に、図書館や市内の公民館図書室所蔵の本を取り寄せることもできます。「どんな本があるのかな」、という気楽な気持ちで一度来館してみたいはいかがでしょうか。

若松公民館長 伊藤 直樹

最新情報は **検索** 千葉市の公民館



若松公民館クラブ等連絡協議会

「総会」が開催されました！

3月23日（木）の臨時代表者会を経て、4月24日（月）に若松公民館クラブ等連絡協議会の総会が開催されました。新たに2サークル（「エコクラフト・紙バンドを使った創作活動[※]」と「ローゼルの会・ハーブの育成と館の美化活動[※]」）が仲間に加わり、16のサークルの代表者が集まりました。（委任状提出3サークル）。事前に配られた会議資料に基づき、会計や事業の報告がされ、時代にあわせた会則の見直しや文化祭開催に向けての方向性について協議されました。

また、前役員の高橋武勇様が千葉市社会教育功労者賞（千葉市教育委員会）を受賞されたことに対するお祝いの席も設けられました。この賞は、多年にわたり社会教育の振興及び発展に寄与し、



最近、谷津田の保全と子どもたちへの普及活動に力を注がれているそうです。

その功績が顕著であった方に対して贈られるもので、高橋様は長年、公民館の美化・整備活動に貢献されたほか、若松公民館クラブ等連絡協議会の役員として公民館活動を地域に還元することに積極的に取り組んだことが評価されました。

★★★★★★★★

林会長（太極拳同好会）と勝又様（坂月川愛好会）に加え、新たな役員（若松一翠会・みつ子さん／遊の会・淑子さん／らくらくヨガ・光子さん）が決定しました。皆様の活動がより良いものになるよう、公民館もお手伝いさせていただきます。よろしくお願ひします。

令和4年度役員の皆様、お疲れさまでした。

絵手紙サークル楽々・正乃さん／坂月川愛好会・紳一郎さん／水曜囲碁会・広信さん／泉墨会・敬治さん／体操サークル・博子さん／若松太極拳同好会・大雄さん

※「エコクラフト」「ローゼルの会」ともに、現在新規の会員は募集していません。

12〜5月の公民館講座報告

クリスマススイブの12月24日、尺八演奏者の内田秋洞さんによる「尺八同好会演奏会〜童謡から古典まで〜」を開催しました。力強さの中に穏やかさを感じる尺八の音色に参加者16人が癒されました。



塩ビ管製尺八との聞き比べも好評でした。

2・3月は、歴史の講座が続きました。千葉市郷土博物館の天野良介館長による「千葉氏前史〜将門の乱の世界〜」(2月9日)では、「桓武平氏略系図」で大河ドラマに登場する人物を追うなどユーモアを交えた講義に笑い声があがりました。今回で7回目となる広瀬正一氏(歴史愛好家)による「史料で振り返る千葉開府物語〜開府九百年を前にして〜」(3月5日)では、過去に執り行われた千葉開府にかかわる式典を丁寧

に解説しました。「視点が面白い」、

「資料が豊富で良く整理されていた。」等、大変好評でした。

3年ぶりの調理実習に子どもたちが腕まくり!

12月3日、江戸ソバリエの島崎朝美さんと小林明子さんからポリ袋を使ったかんたんそばと、そば粉を使った大福作りを教えてくださいました。生めんのゆで方についても丁寧に解説してください、「先生の見本と違ってめんのはきはバラバラになったけど、これまで食べたおそばで一番おいしかった。」という感想が寄せられました。



指導にも熱が入ります。「将来は、そば打ち職人もいいね。」と親子で会話する声も聞こえました。

当館で活動するスイーツの会(第2土曜の午前)の4人の会員が講師

となり、小学生32人に「おかし作り講座」(3月4日)を開きました。子どもたちは、アーモンドパウダーたっぷりのスノーボールとゼラチンゼリーをきれいにラッピングして家に持ち帰りました。

「優しく教えてくれてありがとう。」と元気にお礼を言う姿に、講師も疲れが吹き飛んだようです。

★★★★★★★★★★★★

新年度からスタートする沖縄をテーマとする連続講座の前哨戦として、3月18日に「沖縄県三線ファミリーコンサート」を開催しました。

若葉区出身の宮本利紗さんと沖縄出身の武士結菜さんが華やかな紅型衣装をまとい、民謡を中心に7曲を披露しました。ママと一緒に参加した赤ちゃんも三線の音色と太鼓の鼓動に終始ご機嫌でした。

春休みには、若葉区出身の作家紹介としてとんぼ玉とキルトの作品展&体験会を行いました。とんぼ玉(ガラス製)は多部田町にギヤラリーを持つ森谷深冬さんに講師を依頼しました。バーナーの炎を前に会場は心地良い緊張感に包まれました。



キルト体験会は、地域の方から「コロナも落ち着いてきたので、また公民館で創作活動をしたい。」という相談を受け、館職員が約半年をかけて講師探しを行った末に実現した講座です。講師はキルト歴20年の菅原由美子さん。「宿題に追われたり、講師の好みを押し付けるような会にはしたくない。」というお話に共感し、体験会からサークルが誕生しました。まだ小さな会ですが、新しい仲間を募集しています。(第2・4木曜の午前・会費月二千元)



スタート→
サークルの
創設を目指して
5〜7月

▶若林先生を囲む
発起人の皆さま

「男声合唱団タンケ」や大宮公民館「混声わかば」で長くご指導されている若林文字先生を講師に、男女混声合唱の連続講座が始まりました。動向にどうぞご注目ください。